

第124号

# 酪農とちぎ



キッチンカーお披露目式 テープカット

- 1 ページ 表紙
- 2 ページ 第22回通常総会及び第21回乳質共励会
- 3 ページ 新役員紹介
- 4 ページ 組合長就任挨拶
- 5 ページ キッチンカーお披露目式
- 6～7 ページ 東西南北
- 8～9 ページ 部課だより(業務部)
- 10 ページ 部課だより(経済部)
- 11 ページ 理事会だより
- 12 ページ お知らせ

「キャラクター<sup>えみ</sup>笑味ちゃん」



みんなのよい食プロジェクト



# 第22回通常総会開催

6月21日、第22回通常総会が開催されました。新型コロナウイルスが5類引き下げとなり、4年ぶりの高根沢町民ホールでの開催となりました。本人出席80名（前年28名）でコロナ前の出席状況までは戻らないまでも、少しずつ対面での活動が出来るようになってきたと感じるところです。

議長団には郡司和夫氏（那須塩原市）、古谷康典氏（芳賀町）が選出され、円滑に議事を進行して頂き、全議案とも原案通り可決承認されました。今回の総会では、任期満了に伴う役員改選



議長団 左より郡司和夫氏、古谷康典氏



組合長挨拶

について投票を行いました。退任される役員から代表して、松山前理事よりご挨拶がありました。新役員の体制につきましては、次ページをご覧ください。当日の出席状況

組合員	443名
本人出席	80名
委任出席	1名
書面	309名

総会に先立ち、乳質共励会の表彰がおこなわれました。受賞された方々には、敬意を表しお祝い申し上げます。なお、5年連続最優秀賞を受賞しました、前田宏幸氏（那須塩原市）に特別表彰が贈られました。



退任される理事

## 第21回乳質共励会表彰者

表彰区分	支所名	組合員名	連続賞	組合外表彰	表彰区分	支所名	組合員名
最優秀賞	那須高原	渡邊牧拓	2年連続	県知事賞	優良賞	那須高原	人見政博
	〃	熊谷貞二		県知事賞		〃	皆川健介
	〃	前田宏幸	7年連続	県知事賞		〃	加藤拓央
	〃	石塚三愛農場(株)		県知事賞		宇都宮	塩野目満幸
	宇都宮	植木靖	7年連続	県知事賞		県南	大木宏泰
	〃	駒場久	3年連続	県知事賞		那須高原	清水時雄
	〃	大野雅美	2年連続	県知事賞		宇都宮	(株)菊地牧場
優秀賞	県南	伊沢琢磨	6年連続	農政部長賞		〃	小森崇宏
	那須高原	摩庭達彦		農政部長賞		〃	黒尾賢一
	〃	(株)桃井牧場	3年連続	農政部長賞		〃	鷹箸稔
	〃	井上仁作		農政部長賞		県南	柳吉成
	宇都宮	佐藤輝		農政部長賞		〃	鈴木輝男
	県南	加藤俊雄				那須高原	菊地功
	那須高原	中島隆利				〃	高柳智紀
	〃	室井忠則	2年連続			宇都宮	(株)シルクランドファーム
	〃	大関一男	2年連続			県南	高橋剛
	〃	木澤裕明			那須高原	(有)小林農産	
	宇都宮	須藤貴則			〃	(有)瑞穂農場	
	県南	増山清樹	2年連続		宇都宮	小口和則	
				県南	伊澤祥充		

以上、39名の方々が特に優秀な成績を収められました。  
※敬称略



# 新役員紹介

6月21日開催の臨時理事会にて、菊池理事長（非常勤）、白井組合長（常勤）、南條副組合長（非常勤）、黒川専務理事（常勤）が再任され、執行体制が決定しましたのでお知らせいたします。



代表理事組合長  
白井 勉



代表理事理事長  
菊池 一郎



理事  
石塚 政隆



理事  
石塚 聡



専務理事  
黒川 政光



代表理事副組合長  
南條 弘充



理事  
菊地 正明



理事  
金田 修一



理事  
加藤 功



理事  
海老原哲夫



理事  
人見 浩美



理事  
羽石 智昭



理事  
斎藤 章



理事  
黒崎 浩



監事  
大関 一男



第一監事  
伊藤 高行



代表監事  
高瀬 賢治



理事  
平山 忠男



# 組合長就任挨拶

代表理事組合長 臼井 勉



このたび、第22回通常総会後の臨時理事会におきまして組合長に再任されました。今期で3期目となりましたが、全力で職務に邁進する所存ですので、皆様方のご理解ご協力を心からお願ひ申し上げます。

さて、組合は、関東生乳販連から配分された令和5年度出荷目標数量をふまえ、需給均衡を図るため出荷目

標数量を設定し、個々に目標数量内での生産に向けた取組みをお願いし、抑制型の生乳生産体制に入りました。これら取組みにあたっては、生乳の需給動向に注視し、関東生乳販連と連携協調した対応を図り、生乳生産基盤の維持強化に努めてまいります。

なお、生乳の需給動向は、いまだ予断を許さない状況にあります。全国的に酪農の廃業が進んでおり、先行きの不安を解消するうえで生産現場に対する支援強化が必要です。組合は組織をあげて各種対策を講じながら、国・県等に対

して支援拡充を要請してまいります。

本年度は、組合の第6期中期構想の最終年度となりますが、「多様な酪農の成長を支え、持続可能な酪農を目指す」の基本方針のもと、事業計画の達成に向け、役員一丸となって組合運営に取り組んでまいります。

今後とも組合員はもとより関係各位の特段のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。組合長就任のご挨拶といたします。

令和5年6月

## 専門委員会

### 監事会について

臨時理事会において、総務経済委員長に金田修一氏、副委員長に平山忠男氏、業務委員長に石塚政隆氏、副委員長に羽石智昭氏が選任されました。

また、監事会において、代表監事に高瀬賢治氏、第一監事に伊藤高行氏が選任されました。各役員の詳細は別表を参照願います。

## 専門委員会名簿

委員会名	総務経済委員会	業務委員会
委員長名	金田 修一	石塚 政隆
副委員長名	平山 忠男	羽石 智昭
委員名	南条 弘充	南条 弘充
	黒川 政光	黒川 政光
	菊地 正明	石塚 政隆
	黒崎 浩美	海老原 哲夫
	人見 浩美	加藤 功章
陪席監事	高瀬 賢治	伊藤 高行
	大関 一男	



# 栃木県産牛乳の普及啓蒙 キッチンカーお披露目式

牛乳のキッチンカーが、7月13日に栃木県庁にてお披露目となりました。

県内産牛乳等の販売及びチラシやグッズの配布により、一般消費者への牛乳の良さや利用価値を発信し、家庭内での活用を促進させ、更なる牛乳消費拡大に繋げることが目的です。今後色々なイベントに出向き、PR活動を行う予定です。

白井勉栃木県牛乳普及協会長は、「年間40回から50回の稼働を行い、県民にアピールしたい。」と意気込みを述べ、福田富一栃木県知事は「8月は『とちぎ☆夏ミルク』、12月は『とちぎ☆冬ミルク』を合言葉に、栃木県民牛乳消費拡大月間にする。」と発表しました。式典後はフレイバーミルクの試飲が行われ、写真のメニューから

選べました。味の想像ができない興味からか、青空ミルクを多くの方が頼んでいました。中身をお聞きしたら、ブルーキュラソーシロップとのことでした。残念ながら天気は抜けるような青空ではありませんでしたが、キンキンに冷えた牛乳と青空色のシロップで爽やかに頂けました。キッチンカーを見かけましたら是非飲んでみてください。お披露目の様子はYOUTUBEの栃木県牛乳普及協会のチャンネルに公開されていますのでご覧ください。

## 8月の主な出展イベント予定

- 8/17(木) 宇都宮市文化会館(宇都宮市)
- 8/20(日) ミナテラスとちぎ(宇都宮市)
- 8/24(木) オリオンスクエア(宇都宮市)
- 8/26(土) 農業試験場(宇都宮市)



キッチンカー



白井会長の挨拶



青空ミルクと県庁舎



メニュー



式典の様子



# 東西南北

## 那須高原支所

地元酪農家が全面協力！

小学校で乳搾り＆

バター作り体験実施！

7月4日、那須塩原市の前田宏幸牧場協力の下、那須塩原市立東原小学校で乳搾り体験とバター作り体験を実施しました。毎年学校行事として、地域の酪農への理解と、食育における牛乳への理解を



深め、児童の「食」及び「酪農」への関心を高め豊かな情操を身に付けさせるという趣旨で開催されています。学校から最寄りの前田牧場で開催協力しており、既に10年以上継続して頂いています。学校には搾乳牛、ブラウンスイス子牛、F1子牛を1頭ずつ連れていき、児童が近くで触れ合えるスタイルで実施しており毎年大変喜ばれています。今年は、午前中に1年生が乳搾りとバター作りを体験し、昼休みには全学年の児童総勢208名が乳搾り体験などで牛と触れ合いました。



乳搾り体験では、1人ずつ順番に搾って頂いています。すぐにコップを挿んで上手に搾れる子もいれば、怖がってなかなか近寄れない子もあり、反応は十人十色でしたが、子供達はみんな牛に興味津々で楽しんでいる様子でした。

また、搾乳牛に聴診器を当てて心音を聴いたり、子牛の哺乳体験も行い、とても喜ばれました。とくに子牛コーナーは、さながら子供達のアイドルで終始大人気な様子でした。

1年生のバター作り体験では、生クリーム入りのカップを1人1人に配り作って頂きました。出来たバターはクラッカーに付けて美味しく味わって頂き、とても喜ばれました。

最後は、児童の皆さんに牛乳とミルクジャパングッズをプレゼントとして終了しました。

今年も子供達には楽しい思い出を作って頂く事が出来たと思います。そして今回の体験をきっかけに、酪農について理解を深め、国産牛乳・乳製品の消費拡大の一助になっ

たことと思います。ご多忙の中、ご対応頂いた前田牧場及び関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



「牛乳はどいからやっつてねっ」

### 地元小学生、支所・CS訪問

7月10日、那須塩原市立豊浦小学校の3年生（児童48名）が、給食や食卓に並ぶ牛乳がどう作られて自分たちの手に届くのか学ぶため社会科見学にきました。

那須高原CSの方では酪農家が搾った生乳がタンクローリーで集められ品質検査を受け貯蔵される様子を見て回り、支所では酪農家の仕事内容や牛乳が食卓に並ぶまでの工程について、クイズも交えながら話を聞いてもらいました。



元気の豊浦小学校の生徒達

当日は児童に明治おいしい牛乳を配り飲んでもらいましたが、「とつても美味しい!!」という沢山の声と笑顔、「毎日牛乳を飲んでいるよ!」という嬉しい声も聞こえてきました。

### 宇都宮支所

#### 真岡市沖酪農協が

#### 創立70周年記念式典を開催

真岡市沖酪農協同組合（國母孝至組合長）が創立70周年を迎え、7月12日、フォーシーズン静風にて記念式典を開催しました。

組合長が次のように挨拶されました。「70周年という節目を迎えられた事は、先人の教えと関係者のご尽力があったからだ、深く感謝しております。また、現在も沖酪農組合が存続していることは、皆で考え、そして力を併せ対応してきたからこそ、幾多の難局も乗り越えられたのだと思います。そして、10年後の80周年に向

け、次世代の後継者と共に頑張っ  
て参ります。」

また式次第の中で、発足後10年  
経った当時の先人の想いが紹介さ  
れていました。

「沖酪農組合を支えるもの」

（昭和38年4月発刊より抜粋）

「落伍者を出すな」それは、そ  
の様な体験の中から感じ取った呼  
び掛けである。正に尊い呼び掛け  
である。私達の組織は大きくなっ  
た。しかし私達は何時でも、何度  
でもここまで戻らねばならぬ。そ  
れは感情的にも意識的にも、共同  
生活での生活をよくするためのあ  
らゆる問題は、素朴なそこから出  
発し発展さすべきだとも云えるで  
あろうし、又そこに帰結するとも  
云えるからだ。

「抱きっこ」で行こう。それを  
組織して行こう。どこまでも組織  
して行こう。組織こそ素朴な希求  
を恒常的に成功に導くものだと信  
じているからだ。

長かったと思う。短かったとも

思う。とにかく10年経った。これ  
からだと思う。うんと勉強して、  
努力して、抱き合って成功したい。  
以上が、当時の組合員の想いで  
あり、改めて皆が思い返していま  
した。そして、組合長の挨拶同様  
に「80周年目指して頑張ろう」と  
いう声が上がりました。



# 部課だより

## 業務部

### ● 哺育育成プロジェクト座談会を開催

哺育育成プロジェクトでは、2月27日酪農とちぎ那須高原支所にて、過去に視察訪問させていただいた4戸の農家の哺育担当者、総勢6名に参集してもらい、哺育育成管理について座談会を開催いたしました。

飼育管理には正解は無く、状況に応じたやり方があります。哺育育成管理についても同様であり、様々な経営規模農家でのような管理を行っているのか、農家同士で情報交換を行うことで、知見や交流を広めて欲しいという思いで、今回の座談会の開催に至りました。

#### 〈 談話内容 〉

#### ① 出生時の対応について

自然分娩後は、なるべく親のリックキングに任せ、子牛の体を乾かす方が多く、その他には、タオルや綺麗な藁で拭く方法がとられていました。また、冬場にはカーフウォーマーで温めると、臍部の乾きも良く、効率的に牛体を乾かす

ことができるこの話もありました。

ある農家では、生まれた後、牛体が濡れたままでは低体温症になり、初乳の飲みにも繋がりが将来的にも弱い牛になるので、濡れたままにならないよう注意しているとのことでした。ほかに、難産後の元気がない、呼吸の弱い子牛は、吊るすなどして羊水を出し、子牛用人工呼吸器を使用することで窒息事故が減少したとの話もありました。

#### ② 初乳給与方法について

初乳に関しては、一回目は冷凍初乳、二回目からはパスタチャライズした初乳を給与している農家が多く、なるべく飲めるだけ飲ませるといふ量を重視する方針でした。どの農家も1回に最低2リットル飲んでいけば安心という認識でした。また、初乳を糖度計<sup>※</sup>で測り、20%以下の数値であれば、必要な免疫抗体が少なくと判断し、初乳製剤を足す工夫をしている農家もありました。冷凍初乳の保管方法についても、今まではペットボトルにいれて保管していたが、ジップロックを使った方が溶けやすく良いという声もありました。

<sup>※</sup>初乳の品質（濃度）を確認する時に使用

#### ③ 疾病予防ワクチンの使用について

どの農家も疾病予防のためにワクチンを使用しており、実際に疾病に罹ってから治療代よりも、先んじて予防を行うことで費用対効果を大いに感じているとのことでした。

牛下痢5種混合不活化ワクチンを乾乳牛に接種することで、初乳の抗体価を高め、出生子牛の下痢予防を行うのと伴に、母牛自身も大腸菌性の乳房炎になりにくいという予防効果を感じている農家がありました。また、TSVワクチン<sup>※</sup>を出生後数日で使用するこで、早期の肺炎予防を行うほか、哺乳ロボット牛舎に移動する際に使用し、移動ストレスによる肺炎を予防する策をとっている農家もありました。その他に、次亜塩素酸の牛舎内噴霧消毒を使用することで、アンモニア臭の発生が抑えられる、肺炎予防に効果があったとの声もありました。

<sup>※</sup>呼吸器病予防の鼻腔粘膜ワクチン

#### 2. 座談会を終えて

今回の座談会では、参加者同士で活発な意見交換がなされました。特に印象深かったのは、皆さん疾病予防に力を入れていること



です。元気な子牛を育てることは、酪農経営にとって重要な課題として認識されています。今後もこのよ

うな情報交換の場を更に設けて欲しいとの声もあり、コロナ禍による行動制限が解除された今、農家同士の交流や技術向上に繋がるよう、哺育育成プロジェクトでは、今後もバーンミーティング等を開催していきたいと思えます。

#### 参加者概要

農家① 飼養頭数…経産370頭、育成270頭 フリーストール・フリーバーン  
農家② 飼養頭数…経産146頭、育成148頭 フリーストール  
農家③ 飼育頭数…経産234頭、育成132頭 フリーバーン  
農家④ 飼育頭数…経産104頭、育成71頭 フリーストール

◆記載内容に関する問い合わせは各支所に哺育育成プロジェクト担当がおりますので、お気軽にご連絡ください。



●酪農とちぎ青年部本部

ソフトボール大会開催

7月5日、にしなすのスポーツプラザにおいて、青年部本部（永嶋俊太郎部長）主催令和5年度ソフトボール大会が開催され、各支部より7チーム約85名が参加されました。

当日、降雨の心配もありましたが、早朝には落ち着き、曇り模様で涼しい天候の中で試合を行うことができました。4年ぶりのソフトボール大会ということもあり、とても白熱した試合が展開されました。

試合は2ブロックで開催され、

令和5年度青年部本部ソフトボール大会結果  
開催場所：那須塩原市にしなすのスポーツプラザ

ブロック	優勝	準優勝	3位	4位
Aブロック	塩原 西那須野	大田原	黒磯A	
Bブロック	那須南	塩谷・宇河今市 芳賀・河下合同	黒磯B	那須



塩原・西那須野チーム、那須南チームが優勝されました。試合結果は表のとおりです。青年部員の皆様、応援に来ていただいた皆様大変お疲れ様でした。

●全酪連東京支所

乳用種経産肥育牛枝肉共励会開催

令和5年6月10日に、全酪連東京支所乳用種枝肉共励会が開催されました。当日は7農協より24頭の出品があり、当組合からは12頭の出品がありました。

今回出品された牛は、肥育期間が1ヶ月から18カ月と幅が広く、枝肉重量は平均で388kg大きい



枝肉共励会 受賞者 (株)佐藤牧場 佐藤和幸氏

ものでは500kgを超える肉量豊富なものまで出品されました。枝肉単価は、最高額で1,000円、平均663円、出品牛の約9割が枝肉単価600円以上と満足できる価格が付きましました。本組合では最優秀賞と優秀賞を受賞し、大きな成果を残す結果となりました。

乳用種の経産牛は肉用牛と比べると肉質や歩留まりは劣りますが、肥育することで付加価値を付けることができ、費用対効果を考えることも安定的な副産物収入を得られることが実感できました。

最後になりましたが受賞された皆様、大変おめでとうございます。



枝肉共励会 最優秀賞 人見秀昭氏出品牛枝肉断面

○最優秀賞……人見 秀昭さん  
○優秀賞……(株)佐藤牧場さん



枝肉共励会 研修風景

那須地域就農相談会を開催します

那須地域就農支援ネットワーク会議（事務局：栃木県那須農業振興事務所）では、大田原市・那須塩原市・那須町で就農（Uターン・新規参入など）を考えている方を対象に、農業経営開始までのプロセスや作目の選定、就農支援制度に関する相談会を開催します。

と き：令和5年8月27日（日曜日）

※原則事前申込・オンライン希望可

午前の部 10:00～12:00（受付 9:45～11:10）

午後の部 13:00～15:00（受付 12:45～14:10）

ところ：那須野農業協同組合本店会議室（栃木県那須塩原市黒磯6番地1）

申込先：那須農業振興事務所 経営普及部 経営指導担当宛て

電話番号 0287-22-2826（月曜日～金曜日の8:30～17:00 祝祭日を除く）

8月18日（金曜日）までにお申し込みください。



# 生乳受託課

令和5年6月度の組合生乳生産量は、20,807t（前年比95・5%）となりました。各支所の受入乳量は、那須高原支所14,791t（前年比97・1%）、宇都宮支所6,016t（同91・9%）となり、出荷者数は前年同月より18戸減の322戸（内、学校1）となりました。

6月度の組合平均乳質は、脂肪率3・80%（前年差+0・01%）、無脂固形分率8・82%（同+0・02%）と乳成分は上がり、体細胞数については19・36万（同+1・3万）の成績となりました。

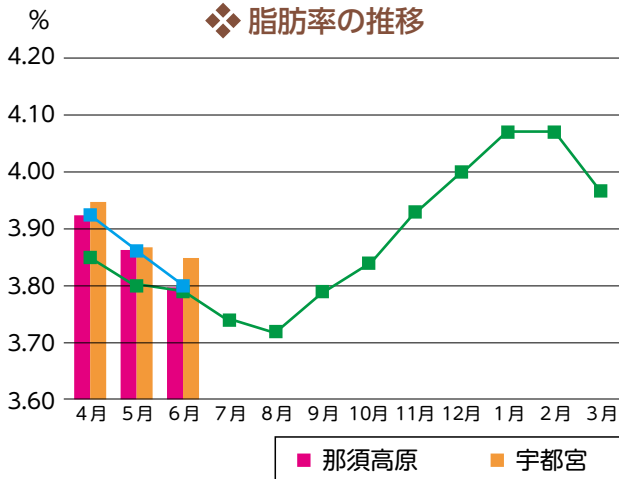
関東生乳販連の6月の総受託乳量は84,926t（前年比95・6%）となり、8ヶ月連続し前年を下回る状況です。用途別販売数量を見ると、飲用全体としては値上げ・インフレの影響による消費減退が続き前年比96・4%となったほか、はっ酵乳等向けが前年比95・4%、脱粉・バター等向けが89・4%と前年を下回りました。

令和5年度 関東生乳販連用途別販売数量 (単位: kg・%)

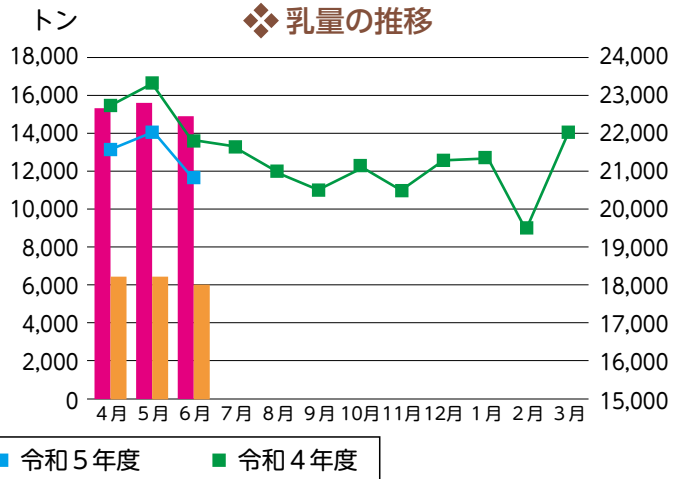
用途	6月期実績	前年同期実績	前年比	6月末実績(累計)	前年同期実績	前年比
飲用牛乳向け	65,495,860	67,939,682	96.4	198,793,252	204,338,831	97.3
(うち学校を除く飲用)	52,612,178	54,788,504	96.0	165,364,097	170,929,732	96.7
(うち学校向け)	12,883,682	13,151,178	98.0	33,429,155	33,409,099	100.1
はっ酵乳向け	11,533,995	12,083,993	95.4	35,162,658	36,651,958	95.9
脱粉・バター等向け	6,811,457	7,621,905	89.4	27,499,451	33,114,529	83.0
生クリーム等向け	989,855	1,068,658	92.6	3,049,825	3,194,186	95.5
チーズ向け	94,552	106,133	89.1	330,688	325,473	101.6
総受託乳量	84,925,719	88,820,371	95.6	264,835,874	277,624,977	95.4
脱粉・バター等向け比率	8.02	8.58	-	10.38	11.93	-

全国の生産量は95・5%と11ヶ月連続し前年を下回りました。内訳は北海道が96・4%、都府県が94・3%の前年比となっています。なお、令和5年6月度の生産量・乳質、及び関東生乳販連の用途別販売数量は別表の通りです。

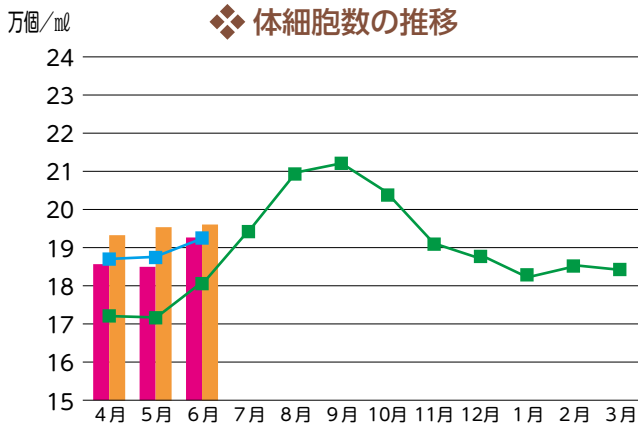
◆ 脂肪率の推移



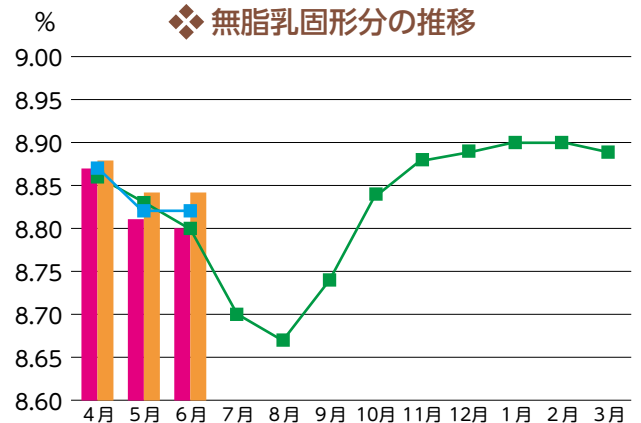
◆ 乳量の推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分の推移



## 理事会だより

### 3月度理事会（3月31日）

#### 報告事項

- 1 業務経過報告について
- 2 組合資金貸付について
- 3 組合プール乳価について
- 4 職員人事について
- 7 関東生乳販連情報について

#### 協議事項

- 1 2月度事業実績について
- 2 令和5年度事業運営に関する理事会協議事項について
- (1) 借入金の最高限度について
- (2) 当座借越限度設定について
- (3) 一組合員に対する貸付金の最高限度及び貸付利率の最高限度について
- 3 令和5年度乳代手数料及び事業賦課金の設定（暫定）について
- 4 令和5年度生乳需給安定化対策方針（案）について
- 5 令和5年度生乳出荷奨励実施要領（案）について
- 6 令和5年度抛出金等の控除について
- 7 令和5年度配合飼料・粗飼料及びTMR飼料供給量別利用奨励措置（案）について
- 8 令和5年度事業計画及び収支計画（案）及びアグリサポート事業計画及び収支計画（案）に

ついて

9 第22回通常総会の開催について

### 臨時理事会（4月4日）

#### 協議事項

- 1 令和5年度生産目標数量の設定について

### 4月度理事会（4月28日）

#### 報告事項

- 1 組合員の予告脱退について
- 2 業務経過報告について
- 3 組合資金貸付について
- 4 組合プール乳価について

特別管理未収金の報告について

関東生乳販連情報について

7 子会社（酪農とちぎアグリサポート）令和4年度事業実績について

#### 協議事項

- 1 3月度及び令和4年度事業実績について
- 2 令和5年度配合飼料等特別緊急対策金措置（案）について
- 3 定款等の一部変更について
- 4 第22回通常総会の協議事項について
- 5 外部団体等の役員推薦について
- 6 役員推薦委員（組合全域1名）の選出について

### 5月度理事会（5月31日）

#### 報告事項

- 1 組合員の加入について
- 2 業務経過報告について

3 組合資金貸付について

4 組合プール乳価について

5 役員推薦会議報告について

6 関東生乳販連情報について

#### 協議事項

- 1 令和4年度事業実績について
- 2 令和4年度損失金処理（案）について

3 総会附議事項について

(1) 第2号議案 目的積立金の廃止及び創設について

(2) 第6号議案 外部出資について

(3) 第9号議案 退任理事に対する退任給与金の贈呈について

4 第21回乳質共励会表彰（案）について

5 4月度事業実績について

6 外部団体等の役員推薦について

### 臨時理事会（6月21日）

#### 協議事項

- 1 執行体制について
- 2 役付理事の選任について
- 3 代表理事の選任について
- 4 理事報酬の配分について
- 5 専門委員会分担及び正副委員長の互選について

### 6月度理事会（6月30日）

#### 報告事項

- 1 業務経過報告について
- 2 組合資金貸付について
- 3 組合プール乳価について
- 4 関東生乳販連情報について

#### 協議事項

1 5月度事業実績について

2 退任理事に対する退任給与金の贈呈について

3 役員賠償責任保険の更新について

4 外部団体等の役員推薦について

5 夏季手当の支給について

6 令和5年度中小酪農等経営生産基盤・飼養管理改善対策事業の対応について

### 7月度理事会（7月31日）

#### 報告事項

- 1 組合員の加入について
- 2 業務経過報告について
- 3 賃上げ及び夏季手当の支給について
- 4 組合プール乳価について
- 5 特別管理未収金の報告について
- 6 乳牛飼養動態調査結果について
- 7 子会社の第1四半期事業実績について

#### 協議事項

- 1 6月度及び第1四半期事業実績について
- 2 特別管理未収金に関わる具体的対応について
- 3 乳質共励会実施規程の一部改定について
- 4 固定資産の取得について



# お知らせ



## 《新入職員紹介》

新規採用者（4月1日付）

業務部指導企画課



柳 晴輝

出身は真岡市で、生家は酪農を経営しております。私は工業系の大学校に進学しましたが、学生の時に畑作業など家の仕事を手伝っているうちに牛に興味を持ち、酪農の勉強をしたいと思い工業系の大学校を卒業後に栃木県農業大学校に進学いたしました。趣味は、最近筋トレにはまっており、ジムに通っています。

まだまだ酪農について学ぶことがあるので、もっと勉強し組合員の皆様がいかに甲斐をもって楽しく牛を飼えるように精一杯精進して参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



那須高原支所 業務推進課



小林 祐哉

4月から那須高原支所に配属になりました。出身は栃木県芳賀町です。私は牛と栃木県の事が好きで、幼少期は牧場へ行く事が何よりの楽しみでした。高校在学時は畜産を専攻し、和牛の肥育などを主に担当していました。卒業後は東京農業大学で地域環境について学び、地域の活性化について考えてきました。これまで学んできた事を生かし、栃木県の酪農の発展に貢献していきたいです。

那須高原支所 業務推進課



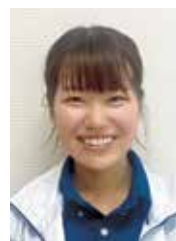
益子 聖崇

4月から那須高原支所に配属になりました。この春卒業し入組の運びになりました。那須拓陽高校在学時に酪農に携わる仕事がしたいという思いから牛部に入部しました。3年間の中で共進会や日々の管理をとおして牛

がより好きになりました。こうして、この春から牛に携わる仕事ができるれしく思います。まだまだ分からないことだらけで不安もありますが、それに負けないように精いっぱい頑張ります。

酪農業界の発展のために、日々精進してまいりますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。

宇都宮支所 業務推進課



勝俣 みな

4月から宇都宮支所に配属になりました。私は、大阪府堺市出身で府内の農業高校に通い、畜産業の奥深さに魅かれ、東京都にある日本獣医生命科学大学へ進学しました。在学中は牛関係のサークルへ入り、酪農家の方との交流会や酪農教育ファームのお手伝いに参加していました。次第に酪農家の方を支える仕事に就きたいと思いい、本組合に入組致しました。

栃木県初心者のため、県内のおすすめの場所を教えてくださいただただ嬉しいです。苦しい情勢ではありますが、お役に立てるよう組合員の方一人一人と向き合い、精進していきたいと考えております。沢山ご迷惑をお掛けすると思いますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

### 6月度 ホクレン初妊牛市場成績 [単位：千円 (税込)]

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	(そのうちET牛)		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
豊富	6月8日	259	234	90.3%	392	8	6	516
十勝	6月12日	717	640	89.3%	456	153	136	661
釧路	6月21日	262	217	82.8%	419	40	31	583
根室	6月22日	437	403	92.2%	467	88	85	638
北見	6月23日	320	291	90.9%	420	25	19	566
合計		1,995	1,785	89.5%	431	314	277	593
前月		2,647	2,230	84.2%	455	389	329	646
前年同月		2,143	1,895	88.4%	529	268	234	753

7月の初妊牛動向といたしまして、夏分娩から秋分娩へ移行し例年であれば需要が高まってくる時期になりますが、今年については、大きな相場変動は考えにくく、横這いに推移するものと見込まれます。資源については、引き続き雌雄選別腹について不足感があります。軟調な相場が続いているため、酪農家の中には販売へ向かず保留する傾向が見られるため、全体の資源としては、減少することも考えられます。導入を希望される方は、余裕をもったご注文をよろしくお願い申し上げます。

### 6月度 県内家畜市場成績 [単位：円 (税込)]

市場名	種別	出場頭数	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
那須	F1雄	172	172	66	294,800	16,500	204,203
	F1雌	137	135	64	253,000	47,300	151,287
	ホルstein雄	63	62	66	144,100	31,900	95,381

今回の初生牛相場は前号に報告した2月の平均価格と比較しますと、全ての畜種で強含みで推移し、倍以上の価格の増加となっております。例年春先から夏にかけて価格は上昇傾向となりますが、7月5日以降の平均価格をみていきますと、すでに6月をピークに弱含みに転じていると考えられます。

